

【ハイポネックスニュース】

HYPONeX NEWS 46号

《令和6年 12月発行 農芸プロダクツ部》

拝啓 新雪の候、寒さも本格的になって参りましたが、皆様方におかれましては益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

目下、異常気象や栽培条件の悪化、農業分野における商流の変化など目まぐるしく時代が動いていく中、弊社と致しまして皆様の生産活動の一助となるべく、今号も様々な栽培事例や推奨管理の情報をお届け致します。

是非ご一読くださいますようお願い申し上げます。

敬具

トピックス

- LINEでのハイポネックスニュース配信開始のご案内 2～3頁
- 新商品「マイコエナジー1L」のご案内 4～5頁
- 新商品「メトロミックス ネギ専用40L」のご案内 6頁
- 「ブルーマックス22kg」販売再開のご案内 7頁
- 「オスモコートエグザクト」商品リニューアルのご案内 8頁
- シクラメン栽培事例について①② 9～10頁
- 低温対策～厳寒期の効率的な施肥方法について 11頁
- 水稻におけるB S資材の活用事例について 12頁
- 「ライゾー」×「バタヨン」の相乗効果事例について 13頁
- ハイポネックスキャンペーンの実施 14頁

年に約2回の発行を続けて早くも46号目となったハイポネックスニュースですが、過去のバックナンバーも併せて見れるようにLINEへの移行を決定しました。LINEではカタログや技術資料、定期的な情報配信を予定しています。

今後は紙媒体での配信を終了し、LINEを活用した電子媒体での配信を予定しています。LINEの「友だち登録」をよろしくお願いたします。

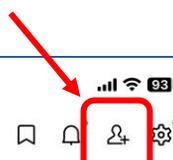


LINE公式アカウント友だち追加手順

QRコードで追加する場合

1

LINEホーム画面右上で「友だち追加」を選択



2

友だち追加画面で「QRコード」を選択



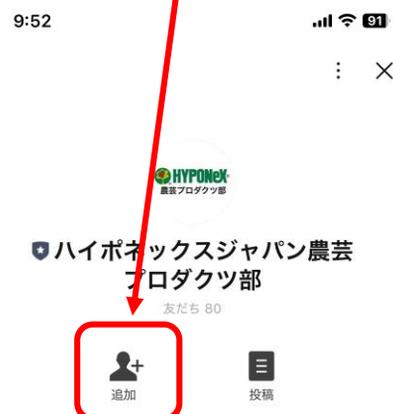
3

カメラで下のQRコードを読み取る



4

「追加」を選択



ID検索で追加する場合

1

LINEホーム画面右上で
「**Q検索**」を選択



2

検索画面で
「**319hpjsk**」と検索



3

「**追加**」を選択



友だち追加後

「アンケート」に回答し都道府県、名前、職種を入力
※職種、生産品目に応じた情報発信を予定しています。



BSカタログ、総合カタログ、技術資料等が閲覧可能です。今後更に資料を充実させていく予定です。是非この機会に友だち追加よろしくお願ひします。



規格：1L

■マイコエナジー1L (菌根菌活性化液剤)

世界初！菌根菌を活性化し、作物との共生率を向上させる資材

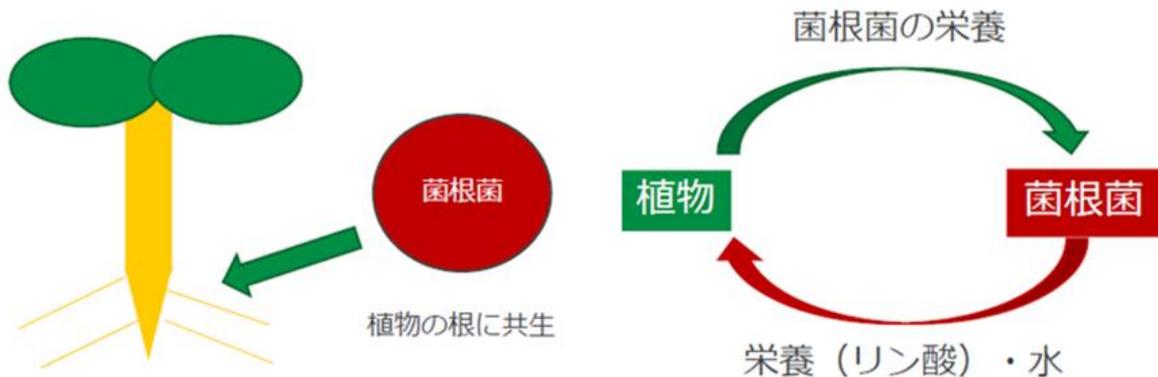
【有効成分】

植物から抽出した新規有効成分配合

(鳥取大学と共同開発：鳥取大学特許番号：特許第7569597号)

菌根菌の活性化によって環境ストレス軽減・減肥料・安定した作物生産

【施用方法】育苗期 1,000倍、生育期 500ml~1L/10a 灌注

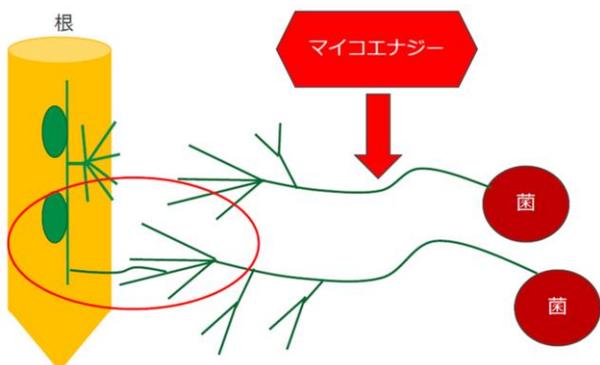


【菌根菌とは？】

4億年前から存在する植物と共生する菌です。陸上植物種の約80%は菌根菌と共生して、植物の根が届かない広範囲の土壌から養分と水を吸収し、植物に供給します。

植物は菌根菌と共生した方が栄養と水をたくさん受け取れるためメリットがあります

菌根菌は世界中の土に生息しています。(身近な公園、森林、河原、家庭菜園の土など) もちろん、皆さんのハウスや圃場にも！



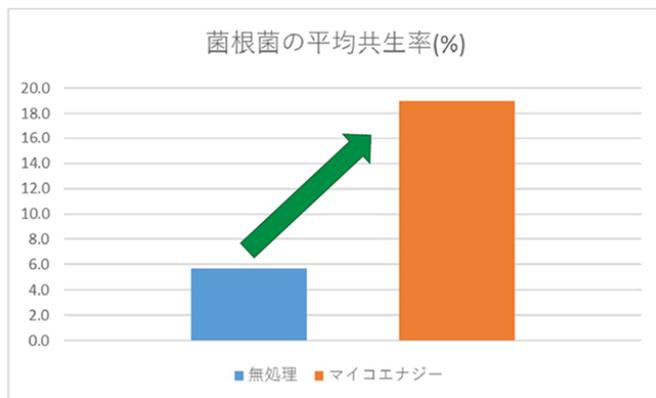
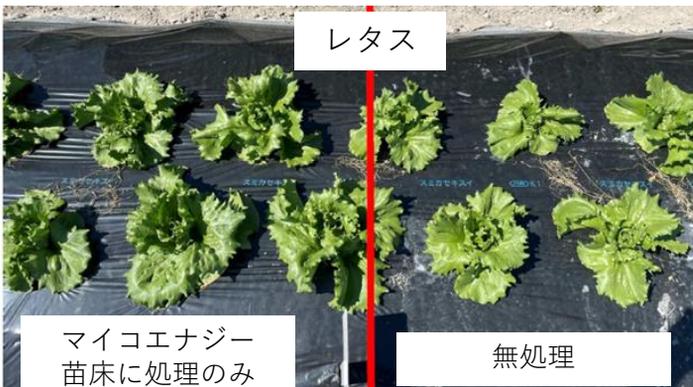
マイコエナジーが菌根菌の菌糸分岐を促進することで共生率が向上します。

圃場には必ず(少なからず)土着の菌根菌が存在しており、マイコエナジーはその菌根菌を活性化し作物との共生率を向上させます。

マイコエナジー使用によって

【高い共生率から得られる効果】

- 土壌の栄養(リン酸)を吸収
- 根の届かない範囲から水分を吸収
- 環境ストレスの耐性改善



統計上1%有意(分散分析)に共生率が増加した(凡そ3倍強)

■マイコエナジー1L（菌根菌活性化液剤）

世界初！菌根菌を活性化し、作物との共生率を向上させる資材

もっと知りたい【Q&A】

Q1：新規有効成分とは何ですか？

A1：詳細は公開していませんが、植物から抽出した漢方薬のような成分です。安全な原料から抽出していますので安心してご使用ください。

Q2：有機JASの作物栽培に使用できますか？

A2：現時点では使用できませんが、将来的には有機JAS別表1に適合する資材グレードも検討しています。

Q3：菌根菌は、植物のリン酸吸収を増やすイメージで良いでしょうか？

A3：その通りです。根だけでは届かない土壌の広い範囲から菌根菌がリン酸を吸収してくれます。

Q4：マイコエナジーは肥料ですか？農薬ですか？

A4：肥料でも農薬でもなく、バイオスティミュラント資材です。肥料成分は含まれておらず、農薬成分も含まれていません。マイコエナジーの有効成分は植物に直接的な効果を発揮しませんので、ホルモン剤（農薬）でもありません。

Q5：どのような菌根菌にも効くのでしょうか？

A5：菌根菌のRhizophagus属とGlomus属に効果がある事を確認しています。両菌根菌は市場で流通している菌根菌資材の種類です。

Q6：有効期限はありますか？

A6：設定していません。有効成分は可能な限り分解しないように十分な量を配合しています。ただし、植物から抽出した天然物であることを考慮して、およそ製造から5年以内を目安に使用いただきたいです。

Q7：マイコエナジーの効果を得られないケースはありますか？

A7：菌根菌が働かない環境では効果が得られないことがあります。具体的には、

- 土壌中の菌根菌の密度が低い
- 土壌中の可給態リン酸の含有量が高い
- トリコデルマ菌の資材を使用している
- 滞水環境下（酸素がない状態）

その他、作物の生育ステージや生育状況によっては効果を発揮しづらいことがあります。今後も各種試験を継続していきます。



規格：1L

その他、ご不明の点がございましたら弊社担当までお気軽にお問合せください。

この度、人工培養土メトロミックスシリーズに新しく、当社の肥料設計のノウハウを活かし、**ネギの長期育苗に特化した培養土**

『メトロミックスネギ専用40L』がラインナップに加わりました。溶出が非常に安定している緩効性肥料を配合しており、低温期でも栽培後半までしっかりと肥料が効くのが特徴です。

他社培養土



メトロミックスネギ専用



Metro-Mix®

メトロミックス® ネギ専用 40L
(たねまき培養土)

2024年
12月中旬
発売予定

ネギの育苗時のオススメバイオスティミュラント資材

1. ボンバルディア 1L、20L (アミノ酸、フルボ酸液肥)



- 含まれるアミノ酸が曇天時等の**不良環境下の生育を促進**し、タンパク質などの有機窒素化合物の合成を助けます。
- 育苗時の葉色が薄い、株をもっと大きくしたい方に
- 定植後の生育期に**消毒時の定期散布**も有効

施用方法：「**灌注(育苗時)**」「**葉面散布(消毒時)**」
倍 率：500~1,000倍

※基本的な薬害の出にくい農薬とは混用可能

2. バタヨン 1L、20L (高濃度フルボ酸液肥)



- 含まれるフルボ酸が肥料吸収効率を高めるため、リン酸吸収率が落ちる**低温期の使用が効果的**
- 主根、二次根の根張りが良くなる (ライゾーとの併用◎)

施用方法：「**灌注(育苗時)**」
倍 率：500~1,000倍

※基本的な薬害の出にくい農薬とは混用可能

販売再開 Blue-Max™ 22kg/袋

青色アジサイ用コーティング硫酸アルミニウム資材

『ブルーマックス(青色アジサイ用コーティング硫酸アルミニウム資材)』が10月より販売再開しております。来年の母の日向けの青色アジサイに是非ご活用くださいませ!!

【特長】

- アジサイの青色の発色を促進するコーティングされた硫酸アルミニウム資材です。
- オスモコートエグザクト同様に優れたコーティング技術により灌水の影響を受けにくく、溶出が安定しています。
- コーティングされていることで、過剰施用を防ぎ、根焼けなどの被害を最小限にし、飛沫することもないため、人体への危険性も軽減します。
- 持続的に安定した溶出により、施用回数を軽減し、時間、コスト、労力の削減につながります。
- 青い色を持続させます。

【用途・施用方法】

用土に混ぜても、表面への施用でも可能。

【施用量】

単位：g/用土1L	標準	根の少ない植物（山アジサイなど）
	4～6g	2～3g

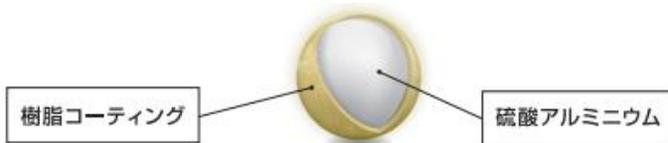
【効果持続性】

平均気温	15℃	21℃	26℃	32℃
持続期間	3～4ヶ月	2～3ヶ月	1～2ヶ月	0.5～1.5ヶ月

【施用事例】

鉢花栽培	10～11月頃3g / 3.5寸を施用し、2～3月頃に6g / 5寸を施用
露地栽培	10～11月頃10g / 1株を施用し、2～3月頃に10g / 1株を施用

■パッケージは変更しておりますが、内容成分について変わらず、以前と同じようにご使用いただけます。



オスモコートエグザクトの技術を使用した、コーティングされた硫酸アルミニウム。使いやすい粒状タイプで粒径サイズは2～4mm



ご使用の際は、一度お試しの上ご使用ください。

Osmocote® Exact High K 25kg/袋

発売以来、多くの生産者の皆様にご愛顧いただいているコーティング肥料『オスモコートエグザクト』ですが、一部のアイテムに関しまして、肥料成分をリニューアルすることになりましたのでご案内いたします。

オスモコートエグザクトハイK シリーズの
 ■ 5～6ヶ月タイプ ■ 8～9ヶ月タイプ
 肥料成分【11-11-18+TE】→【12-7-19+TE】
 に変更、TE：必須微量元素も強化しました。
 （3～4ヶ月タイプと同じ肥料成分になります）。



旧タイプの在庫が無くなり次第、新タイプに切り替えますが、5～6ヶ月タイプにつきましては、既に新タイプに切り替わっております。

【成分について】

新旧成分	保証成分量						配合成分値						
	窒素全量	アモニア性窒素	硝酸性窒素	りん酸	加里	苦土	マンガン	ほう素	鉄	銅	亜鉛	モリブデン	
旧タイプ	11.0	6.8	4.2	11.0	17.0	1.2	—	—	0.044	0.028	0.002	0.007	
新タイプ	11.0	6.4	4.6	5.0	19.0	1.0	0.05	0.04	0.06	0.028	0.008	0.014	

【特長】

- 独自の配合及びコーティング技術により肥効調節された被覆肥料です。直径約2.5mm～3.5mmの粒子径で、それぞれ5～6ヶ月、8～9ヶ月肥効が持続します。
- ホモジニアス（均質）のため、1粒ごとのばらつきがありません。
- カリ成分の割合が高いため、丈夫でコンパクトな生育を促します。



【5～6ヶ月タイプの施肥量】

施肥量（元肥・追肥）	肥料要求量が低い植物	標準施肥量	肥料要求量が高い植物
苗木	2.0～2.5	3.0～3.5	4.0～4.5
鉢物	2.0～3.0	3.0～4.0	4.5～5.0
花壇苗 1年草	2.0～3.0	3.0～4.5	4.0～5.5
多年草	1.0～1.5	1.5～2.0	2.0～3.0



【8～9ヶ月タイプの施肥量】

施肥量（元肥・追肥）	肥料要求量が低い植物	標準施肥量	肥料要求量が高い植物
苗木	2.0～3.5	3.5～4.5	4.5～6.0
鉢物	2.0～3.5	3.5～4.5	4.5～6.0
多年草	1.0～2.0	2.0～3.0	3.0～4.0

平均気温	16℃	21℃	31℃
持続期間	6～7ヶ月	5～6ヶ月	3～4ヶ月

平均気温	16℃	21℃	31℃
持続期間	10～11ヶ月	8～9ヶ月	4～5ヶ月

ご使用の際は、一度お試しの上ご使用ください。

仮植～定植の管理

【仮植の適期】・・・本葉2～3枚頃

側芽の形成は本葉4～5枚目に開始されます。仮植が遅れると根が老化し、活着が遅れる（生育がバラつく）要因となるので注意が必要です。

時期	3月中～下旬 (本葉3枚)	4月	5月 (本葉15枚ほど)	6月 (本葉18枚ほど)
作業	3寸ポット仮植	仮植3週間後BA処理 (元肥が効いている時期)		5寸定植
液肥	定植直後からライゾー 3,000倍～5,000倍 3～4回連続で灌注	定植2週以降ピーターズ (20-10-20/15-0-15) 4,000～5,000倍	ピーターズ (20-10-20/15-0-15) 2,000～3,000倍 少しずつ濃度あげていく	
置肥		葉枚数8枚以降から置肥開始 (2～3回) プロミックオキサミドタイプ8-25-8 (小粒) または、マグアンプK (中粒) 0.5g		

【肥培のポイント】

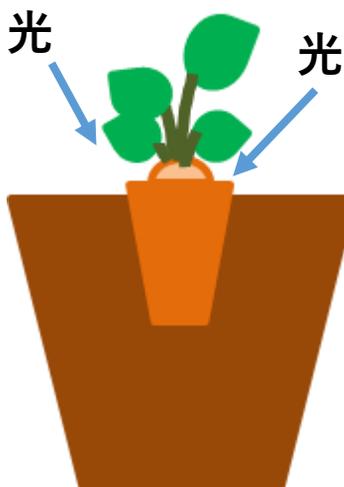
はじめにライゾーを施用し根の活性を向上させます。その後4～5週間経過した頃から、吸収の早い硝酸態チッソを含むピーターズ20-10-20を軸に、Ca配合のピーターズ15-0-15を適宜与えることで根と生長点の伸長を促進します。

葉枚数8枚以降は置肥を併用し、肥料のレベルを安定化するとスムーズに側芽が作られます。
(8枚未満での置肥は、主芽に養分が集中してしまうので避けましょう)

<用土（仮植）参考例>

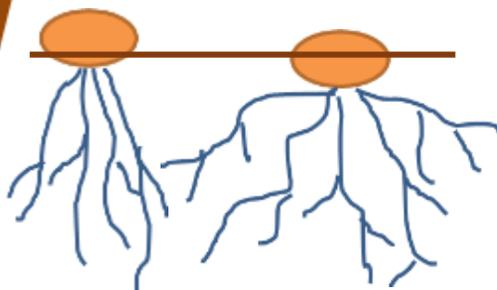
仮植の用土は、気相率が高いものを使用し余分な水分を含ませないことが重要です。含水量も最初は控えめ（ポットの3/4程度が湿る位）からスタートし、徐々に増やしていきます。仮植40日経過した頃を上根（うわね）の張り出しが見えることが理想的です。

資材	割合	備考
調整ピートモス	50%	
パーライト（小粒）	20%	排水性（軽石とパーライトでも可）
赤玉土（小粒）	15%	保肥力を確保
腐葉土	15%	
マグアンプK中粒	1～2g/L	初期肥料とリン酸（根の伸長）
重焼燐	1～2g/L	
苦土石灰	1g/L	カルシウム（生長点に作用）



仮植時、塊茎は1/3くらい地上に出して植えます。
(塊茎に光が当たることで芽の勢いを強くします)

露出している・・・根が出る部位が少なくなり根量が減少



植えつけの際、苗を強く押すと活着にムラが生じてしまいます。苗は押さえつけず、軽く土を寄せる程度にしましょう。用土は十分量しっかり充填し、ウォータースペースは少ない方が生育の揃いが良くなります。

定植後の管理

【肥培のポイント】

仮植と同様、液肥を始める前にライゾーを施用すると初期成育がスムーズになります。夏場の高温期も肥料レベルの維持に努め液肥は継続的に与えます。定植後の液肥は、カリ高でカルシウムを含むユニバーゾル (SW) やプロフェッショナルハイポネックス (13-8-25) がお勧めです。日中と夜温の寒暖差がはっきりする時期（夜温が20℃を下回る頃）から中心葉（秋葉）の展開スピードが増し肥料の吸収量も増加するため、置肥（プロミック）を併用し肥料欠乏に注意しましょう。

時期	7月・8月	9月	10月	11月
作業	遮光・葉水・リング掛け・矮化剤・BA+GA処理		葉組み・ジベレリン処理	加温・DIF・出荷
液肥	始めにライゾー3~4回施用（液肥は定植2週間後から） ユニバーゾルSW（14-7-21）または、プロハイポ（13-8-25） 3,000~4,000倍		ユニバーゾルSW（14-7-21）またはプロハイポ（13-8-25） 最終2,000~3,000倍まで上げる 花芽が遅れている場合は ピータース（10-30-20、15-30-15）ピンポイント施用	
置肥	プロミックオキサミドタイプ 8-25-8（中粒）または、 マグアンプK（中粒）1~1.5g	プロミック遅効き8-8-8（中粒） または、 プロミック遅効き6-9-9（中粒）	プロミックスタンダード 8-12-10（中粒）または、12-12-12（中粒） 10月中旬以降は2~3週間隔で置肥	

リング掛けのポイント！

残暑が厳しい時期に株の中心部をしっかり開く葉組みを行うとストレスがかかり生育が止まってしまう可能性があります。無理に葉柄を曲げこまず、軽く中心を広げる程度にしましょう。1週間以内に一巡し、かけ直す回数を増やすことで秀品率が向上します。

ジベレリン処理のタイミングは出荷ピークから逆算して45~50日前です。10月の時点で花芽の数が充実していれば自然開花に任せても良いでしょう。

加温の開始は外気温が10℃を下回る頃です。暖房機の点検は早めに済ませておきましょう。

<温度設定の目安>

■ 15℃~18℃

→ 蕾の発達、葉枚数の増加

■ 20℃前後

→ 開花促進

【DIFの活用】

DIF（日中と夜温の格差値）を利用して草姿を引き締めます。加温が遅れると“葉柄の伸び”や“花芽の遅れ”が生じるので要注意です。最低夜温が15℃くらいから加温を開始し、プラスDIF値を少なくすると開花が揃いやすくなります。また本格的に加温を開始した後は、早朝（日の出）から数時間ハウスを開放して低温の外気をハウスに入れることでマイナスDIF環境を作ると良いでしょう。



花芽を覗いて生育チェック！

- 基部は太い？ 細い？
- 反転の強さは？

基部が細く立ち気味の花芽なら養分不足の可能性がります。

開花促進にお勧め！ 2024年新製品 シーウェックス (N-P-K=1.2-0-6.0)

海藻類と微細藻類由来の有効成分をバランス良く配合したBS資材です。植物体内のホルモンバランスを整え開花のプロセスをスムーズにします。



葉面散布：500~1000倍
(7~10日間隔)

置肥

粒状肥料は気温などによって溶出量が大きく変わることがあります。オスモコートは比較的、肥効が安定した資材ですが、厳寒期には他の肥料同様、「効きが弱いかな？」と感じたことのある方もいるのではないのでしょうか？そこで、厳寒期におすすめの置肥は

【オスモコートブルーム (12-7-18) 2-3ヶ月タイプ】

オスモコートの短期タイプで、粒状肥料の溶出が控えめな厳寒期にも効果的な肥料です。また、粒子サイズが細かく均一のため均等に施肥ができる肥料です。



【オスモコートブルーム】 【他社コーティング肥料】



品名・肥効期間	保証成分量						配合成分値				含有値	
	窒素全量	硝酸態	アンモニア態	水溶性リン酸	水溶性カリ	水溶性苦土	鉄	銅	亜鉛	モリブデン	マンガン	ホウ素
12-7-18・2～3ヵ月	12.0	6.8	5.2	7	14	1	0.21	0.04	0.009	0.016	0.04	0.03

液肥×BS資材

低温期の葉色の改善や生育促進に活躍する機会の多い液肥。そこにBS資材を組み合わせると、液肥の**効果増大**、BS資材による**補助効果**も期待できます。今回は**ボンバルディア・バタヨン**と組み合わせることで得られる効果をご紹介します。



【ボンバルディア】

主成分は**アミノ酸・フルボ酸**です。低日照で植物の光合成の活性が下がる低温期に、**直接アミノ酸を補給**できる資材です。

フルボ酸は液肥に含まれる微量元素を植物に吸収させやすくする**ブースト効果（キレート効果）**があり、液肥との混用がおすすめです。



【ボンバルディア】

フルボ酸が37.6%と高濃度で配合された資材です。フルボ酸には**発根促進効果**もあり、根系の充実や根が弱りがちな低温期に非常に効果的です。

また、ボンバルディア同様、液肥のブースト効果も高いため、液肥との混用で**根系と上部どちらにも働き**かけることができます。

低温期の健全な生育を実現するために、初期の根張りは欠かせません。液肥×BS資材も、充実した細根があればより効果的。ぜひ**ライゾー**もご活用ください。



時期	4月			5月			6月			7月			8月			9月			
	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	上旬	中旬	下旬	
生育ステージ	育苗期			活着期			分けつ期			幼穂形成期			登熟期						
作業				↑ 田植え					↔ 中干し				↑ 出穂					↑ 収穫	
施用時期	ライゾー (育苗期間2~3回施用) 2000倍灌水施用 ※育苗期の根張り、生育促進			ボンバルディア 流し込み施用(1~2L/反) ※田植え後の【活着促進】						ボンバルディア 流し込み施用(1~2L/反) ※中干し後施用で 【幼穂形成期の肥料吸収促進】			シリテック 流し込み施用で(1L/反) 【高温対策に転流促進、品質向上】						
ドローン散布										ボンバルディア (8~10倍で1回散布) ※出穂前施用で 【光合成強化】				ボンバルディア (8~10倍で1回散布) ※出穂後施用で 【養分転流促進】					

※施用量、施用間隔等は栽培条件で変わることがありますので、一度お試しの上、ご使用ください。

【概要】

水稲のバイオスティミュラント試験では、育苗の安定性、収量および品質の向上を目指しています。試験の結果、ライゾー、ボンバルディア、マイコジェルを組み合わせることで、収量が最大19%増加し、一等米の比率向上にも効果がありました。また、人手不足に対応するため、ボンバルディアの高濃度でのドローン散布試験を実施し収量が増加することが分かりました。



左：ライゾー ; 右：対照区



流し込み施用
左：ボンバルディア ; 右：対照区



ドローン散布
左：ボンバルディア ; 右：対照区

【各BS資材の水稲に対する作用特性】

近年の高温の影響で水稲育苗時の徒長など、根張りや生育不良が頻発しています。ライゾーは根の発育を促し、苗の品質と田植え後の活着を改善します。ボンバルディアはフルボ酸を含みリン酸の吸収効率を高め、光合成を助け高温環境でも水稲の生長をサポートします。なお、ボンバルディアのL型アミノ酸は出穂期の品質向上に役立ち、土壌の改善にも貢献します。シリテックは水稲に必要なケイ酸を補給し、光合成効率や病害抵抗力、葉温低下を促進して収量の向上に寄与します。

【ミニトマトの事例～根量UPによる果実肥大効果～】



【施用区】



【無施用区】

- 注目ポイント（ライゾー反当200g・バタヨン反当2L混用毎週土壌灌注処理）
ライゾーによる毛細根の連続誘導とバタヨンによる主根伸長の相乗効果により地下部の根量を飛躍的に増やし果実への養分転流を実現した検証試験の一例

【キュウリの事例～根量UPによる徒長抑制効果～】



【施用区】



【無施用区】

- 注目ポイント（ライゾー反当200g・バタヨン反当2L混用毎週土壌灌注処理）
ライゾーによる毛細根の連続誘導とバタヨンによる主根伸長の相乗効果により地下部の根量を飛躍的に増やし軟弱徒長が抑えられた検証試験の一例

< キャンペーン期間 >

2024年12月23日（月）～2025年2月28日（金） 出荷分まで

マグアンプKやピーターズなどの添付サービス
メトロミックスやレディアース1パレット運賃サービスも継続！
詳しい情報は、販売代理店までお問合せください。

一部、ご紹介は、花壇苗、野菜苗の均一生産による生産ロス、出荷作業軽減
に均一錠剤肥料『グローアー錠剤』導入をご検討しませんか。

運賃条件 5ケース→**2ケース**へ緩和

添付条件を **15ケース + ①ケース添付**を実施



Lサイズ	Mサイズ	Sサイズ
約2.5g	約2g	約0.8g
直径16mm	13mm	9mm

グローアー錠剤 9.3kg

Lサイズ (2.5g) : 約3,600錠/箱

Mサイズ (2.0g) : 約4,500錠/箱

Sサイズ (0.8g) : 約11,400錠/箱

2ケース元払い

*サイズ取り合せ可
(通常5ケース元払)

◆内容に関してより詳しいことは下記までお問合せください◆

株式会社ハイポネックスジャパン

農芸プロダクツ部

【本社】〒532-0003 大阪市淀川区宮原四丁目1番9号 新大阪フロントビル11階

TEL : 06-6396-0801 FAX : 06-6396-1166

【東京支店】〒140-0001 東京都品川区北品川三丁目6番9号

TEL : 03-5781-2590 FAX : 03-5781-2591